

山行記 立石寺山寺・銀山温泉

[山行日] 2021年10月2日(土)～3日 一泊2日
[集合] 野木町公民館 5:30 出発
[交通] 大型バス [参加者] 18名

コース ①山寺立石寺登山口・・・根本中堂・・・宝仏殿・・・セミ塚・・・仁王門本坊・・・三重小搭・・・開山堂・・・五大堂⇒ 銀山温泉
②白銀の滝・・・河鹿橋・・・儀賀市郎左衛門の像・・・銀鉞洞・・・おもかげ園・・・夏しらず・・・斎藤茂吉像・・・鬼子母神・・・温泉街

10月2日 立石寺(りっしゃくじ) 山寺

コロナ渦で心配でしたが運よく緊急事態宣言解除された台風一過の雲一つない朝、定刻出発 那須を過ぎ福島県に入るとブドウ畑が続く中、緑の山に黒いソーラーパネルが敷き詰められた山があち、こちに見える。自然エネルギーは良いが、やり過ぎは、環境破壊につながると思う。バスは山形へとひた走る。

10時15分、山寺の駐車場到着。お土産店がたくさん並んでいる古い街並みだ。これより、山寺1,000階段を上る。準備体操後登山口の階段で(ストックの使い方教室)をベテランの田澤講師から教わる。いよいよ山寺1,000階段を登りきれるか? 先ず立石寺根本堂で参拝し、少し歩くと松尾芭蕉の碑がある。

「閑さや岩にしみいる蟬の声」の名句をこの山寺で読んだそうだ。ここを過ぎ



ると土産店が並び玉こんにゃくをうるおばちゃんが食べていけとうるさい。

これから長い段を登り仁王門で一休み。

(二体の仁王さん一体は口を開け、もう一体は口を結ぶ)あうんの呼吸だとか。

開山堂をでて一休みし、最後の寺「五大堂」を登る。頂上に展望台があり街並みが一望できる素晴らしい景色でした。ここまでの階段数1070段。

五大堂を見ながら昼食。下山後ご土産店のうるさいおばさんの店で玉こんにゃく食べる。無事全員に参拝し下山できました。

「銀山温泉へ」

1時5分 バスは立石寺山寺を出発、大正ロマン館（銀山観光センター）でトイレ休憩、部屋飲み用のお酒を買う。 3時 銀山温泉「能登屋旅館」に到着、気持ち良い露天風呂に入り今日一日の疲れを癒すことができました。18時から会食、久しぶりにおいしい食事を頂きました。部屋飲み宴会では、山中照八さんの（五助ドン）の演芸でしめくりました。 記【A・Y】



初めての銀山温泉

二日目はまず温泉街の奥にある「白金公園」内にある“白金の滝”の雄大さを眺めてからその先に続く散策路コースを楽しみました。

ほんの少し色づいてきた木々を眺めながらゆっくりのんびり歩き始めて間もなく誰かのひと声で列が乱れ、地面に落ちている山栗を拾い始めました。その後も山ブドウ、クルミを収穫して、夕べ旅館の女将が話してくれた江戸時代の初期に大銀山として栄えた「延沢銀山遺跡」を見学、洞くつ坑内のひんやりした空気と静けさを感じ、又不気味に感じる黒い岩肌を眺め、昔栄えていた頃の銀山に思いを馳せました。

銀の採掘が最盛期の頃は銀山温泉には一万人もの人が生活していたそうですがその後閉山とともにだんだん衰退していったようですが、朝ドラの「おしん」の舞台になった事で観光客が来るようになり、今では行ってみたいロケ地ナンバー1の観光地だそうです。

大正ロマンが感じられる町並（？）を満喫した二日間でした。

記 F・H

